

愛子先生の診察室便り

患者さんの健康上の気掛かりになることをお便りしていきます。

インフルエンザの予防接種の必要性

去年末まで、オーストラリア総合診療学会はインフルエンザの予防接種を受ける時期が早すぎると、インフルエンザシーズンの終わり頃には免疫がなくなってしまうという理由から、毎年5月中旬に接種することを推奨してきました。しかし、今年はいつもの状況とは違います。

オーストラリアでは、今年に入ってから3月末時点で、既に17,910症例のインフルエンザ感染が確認されています。新型コロナウイルスパンデミックと通常のインフルエンザシーズンが重なることもあり、ダブル感染を防ぐため、そしてオーストラリア医療システムに掛かるストレスを軽減するためにも、できるだけ早くインフルエンザの予防接種を受けることをお勧めします。

特別な理由がない限り、集団予防の観点から、年齢6ヶ月以上のすべての方に推奨しています。接種希望の方はGPや薬局に相談して下さい。2020年度のインフルエンザの予防接種は、4月から、殆どの医療施設や薬局で受けることが可能になっています。但し

10歳以下のお子さん、65歳以上の方専用の強化ワクチンは、GPクリニックで提供されています。

下記に該当する方には特に強くお勧めしています。

- 65歳以上の方。
- 心臓、肺、神経関連の慢性疾患がある方。
- 妊娠している方。
- 6ヶ月から5歳までのお子さん。

また、2月までのデータでは、今年もインフルエンザが猛威を振るうと予測されていましたが、新型コロナウイルス感染防止のさまざまな取り組みにより、インフルエンザ感染数は例年と比べると少なくなるのではないかとされています。

ですから、ウイルス感染症の予防策は積極的に取り入れていきましょう。引き続き、手洗いの遂行はもちろんのこと、咳エチケットを守り、「3つの密」となる密閉(換気の悪い密閉空間)、密集(多数が集まる密集場所)、密接(間近で会話や発声をする密接場面)を徹底して避けるようにしましょう。



富田 愛子 Dr. Aiko (Tiarni) Tomita

オーストラリア歴20年以上。NSW州で多くの医療機関、クリニックでの勤務を経て2014年よりメルボルンで診療を開始。豪州総合診療科学会認定専門医 (FRACGP)。東海大学医学部客員准教授。医学博士。

Telehealth・
診察スケジュールは、
W: doctoraiko.comを
ご覧ください。